

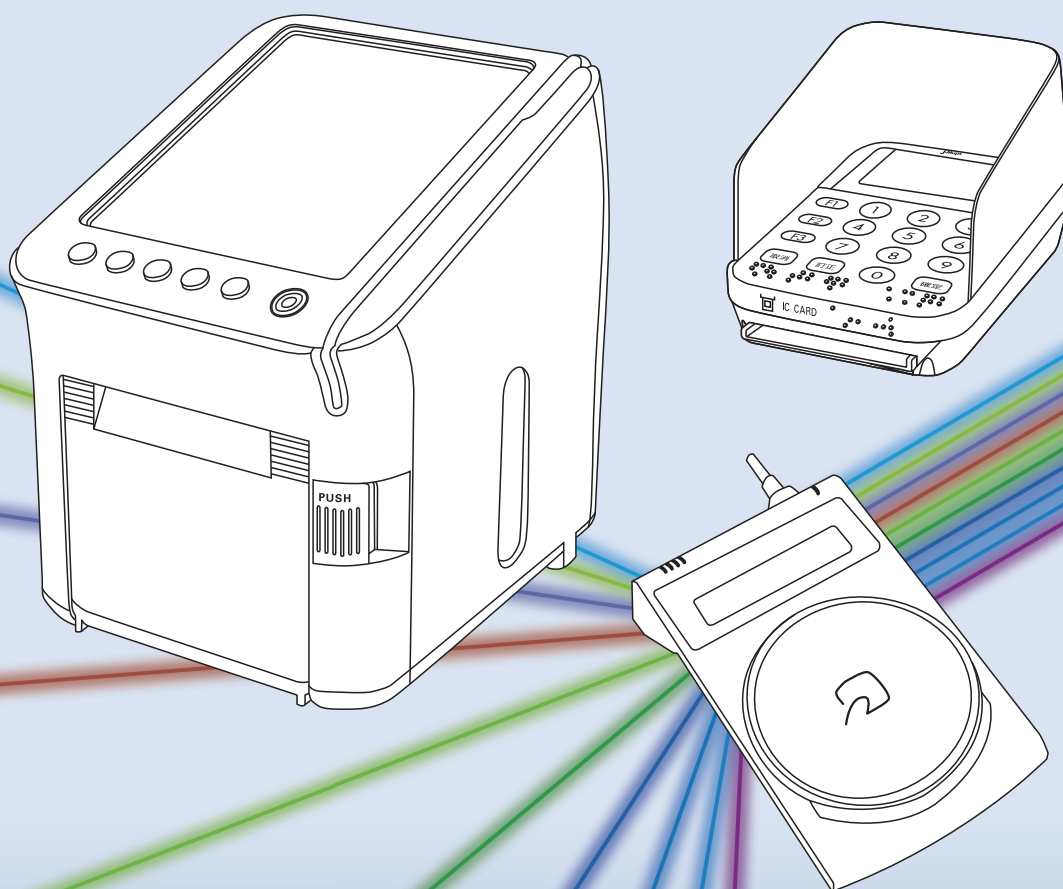
クラウド型マルチ決済システム

# J-Mups

MPS-100(端末本体)  
MPS-100P(PINパッド)  
NJJ-169-J(リーダーライタ)

**取扱説明書**

**2013年3月版**



- 本書は、J-Mupsの操作方法や設定方法をまとめた取扱説明書です。特に安全上のご注意を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- 本書の内容に関しては、仕様変更などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を、無断転載することを禁止します。

**JR東日本メカトロニクス株式会社**



# 目次

## 1 お使いになる前

1 安全上の注意	1-1
2 使用上のお願い	1-4
3 付属品の確認	1-8
4 各部の名称	1-9
5 各部の接続方法	1-14
6 電源の入れ方・切り方	1-16
7 カードの読み取り方法	1-18
8 設置方法	1-20

## 2 お使いになる時

1 基本的な使い方（1日の流れ）	2-1
2 基本的な業務（クレジット）	2-3
3 基本的な業務（交通系 I C）	2-4
4 基本的な業務（銀聯）	2-5
5 基本的な業務（デビット）	2-6
6 基本的な業務（iD）	2-7
7 基本的な業務（QUICPay）	2-8

## 3 J-Mups の操作

1 業務	3-1
1.1 クレジット業務	3-1
1.1.1 クレジット売上（磁気カード）	3-1
1.1.2 クレジット売上（I Cカード）	3-3
1.1.3 支払い方法の詳細	3-6
1.1.4 クレジット取消 / 返品	3-16
1.1.5 クレジット事前承認	3-21
1.1.6 クレジット承認後売上	3-24
1.1.7 カードチェック	3-28
1.1.8 マニュアル入力	3-30
1.1.9 フォールバック処理	3-31
1.2 交通系業務	3-32
1.2.1 交通系売上	3-32
1.2.2 交通系売上取消	3-37
1.2.3 交通系残額照会	3-41
1.3 銀聯業務	3-43
1.3.1 銀聯売上	3-43
1.3.2 銀聯取消	3-46
1.3.3 銀聯オーソリ予約	3-50
1.3.4 銀聯承認後売上	3-53
1.3.5 銀聯オーソリ予約取消	3-56
1.3.6 銀聯承認後売上取消	3-60
1.4 デビット業務	3-64
1.4.1 デビット売上	3-64
1.4.2 デビット取消	3-67
1.4.3 デビット残高確認	3-69

1.5	売上報告業務	3-72
1.6	iD 業務	3-75
1.6.1	iD 売上	3-75
1.6.2	iD 取消	3-78
1.6.3	iD 照会	3-82
1.6.4	iD 前回取引確認	3-84
1.7	QUICPay 業務	3-86
1.7.1	QUICPay 売上	3-86
1.7.2	QUICPay 取消	3-89
1.7.3	QUICPay 履歴出力	3-93
1.7.4	QUICPay 前回取引確認	3-95
2	集計	3-97
2.1	日計	3-97
2.1.1	クレジット日計	3-97
2.1.2	交通系 IC 日計	3-99
2.1.3	銀聯カード日計	3-101
2.1.4	デビットカード日計	3-103
2.1.5	iD 日計	3-105
2.1.6	QUICPay 日計	3-107
2.1.7	全取引日計	3-109
2.2	中間計	3-111
2.2.1	クレジット中間計	3-111
2.2.2	交通系 IC 中間計	3-113
2.2.3	銀聯カード中間計	3-115
2.2.4	デビットカード中間計	3-117
2.2.5	iD 中間計	3-119
2.2.6	QUICPay 中間計	3-121
2.2.7	全取引中間計	3-123
3	再印字	3-125
3.1	日計	3-125
3.1.1	クレジット日計 (再印字)	3-125
3.1.2	交通系 IC 日計 (再印字)	3-127
3.1.3	銀聯カード日計 (再印字)	3-129
3.1.4	デビットカード日計 (再印字)	3-131
3.1.5	iD 日計 (再印字)	3-133
3.1.6	QUICPay 日計 (再印字)	3-135
3.1.7	全取引日計 (再印字)	3-137
3.2	伝票	3-139
3.2.1	クレジット伝票 (再印字)	3-139
3.2.2	交通系 IC 伝票 (再印字)	3-142
3.2.3	銀聯カード伝票 (再印字)	3-144
3.2.4	デビットカード伝票 (再印字)	3-147
3.2.5	売上報告伝票 (再印字)	3-150
3.2.6	iD 伝票 (再印字)	3-152
3.2.7	QUICPay 伝票 (再印字)	3-154
4	設定	3-156
4.1	電子マネー設定	3-156

4.2	配信設定 .....	3-159
4.3	パラメータ印字 .....	3-160
4.4	英字伝票設定 .....	3-163
4.5	ネットワーク設定 .....	3-164
4.6	売上報告設定 .....	3-165
5	その他 .....	3-167
5.1	トレーニングモード .....	3-167
5.2	端末情報 .....	3-168
5.3	備品申込 .....	3-169
6	共通部操作 .....	3-173
6.1	インフォメーション .....	3-173
6.2	オンラインマニュアル .....	3-175
7	伝票 .....	3-176

## 4 困ったとき

1	よくある問合せ .....	4-1
2	エラーメッセージ一覧 .....	4-6
3	商品コード一覧表 .....	4-17
4	問合せ先 .....	4-19



# 1 お使いになる前

## 1 安全上の注意

本説明書は、本装置をお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく必要があることを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告



分解禁止

### 分解したり改造したりしない

ショートによる火災や感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

### 機器に水をかけたりぬらしたりしない

濡れた手で機器に触らないでください。発熱や発火、感電のおそれがあります。



禁止

### 機器に異物を入れない

ショートや発熱により、火災や感電のおそれがあります。



禁止

### ペースメーカーの装着部に近づけない

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



強制

### 異常がある時はすぐに使用をやめる

異臭の発生や発煙などの異常が生じた場合は、そのまま使用すると火災の原因になります。直ちに電源を切ってください。





## 注意



禁止

**本機に強い衝撃や強い力を加えない**

本機の破損や故障の原因となります。



禁止

**湿気、ホコリ、油煙などの多い場所や火気のそばで使用しない**

火災や感電などの原因になります。



禁止

**接続ケーブルを破損するようなことはしない**

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

**本機をぶついたり投げたり強い衝撃や強い力を与えない**

強い衝撃や強い力を与えると故障の原因になります。

破片などでケガをする恐れがあります。

液晶ディスプレイが破損し、傷害の原因になります。

そのまま使用するとショートして火災や感電の恐れがあります。



ケガに注意



プラグを抜け

**雷鳴が聞こえた時は使用しない**

落雷の恐れがあり事故の原因になります。電源プラグを抜いてください。

## 2 使用上のお願い

本装置を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

### 操作環境、設置、使用場所について

#### 端末本体は専用の周辺機器を使用する

- 同梱されたP I Nパッド、リーダライタを使用してください。他の機器を使用すると、発熱、発火、感電、故障の原因になります。
- 同梱された電源ケーブル及びA Cアダプタは端末本体専用品ですので、他の機器には使用しないでください。

#### ぬれた手でさわらない

- ぬれた手で本機および電源プラグに触らないでください。
- 夏場など汗をかいた状態で使用になると、キーパッドなどから汗が侵入し、内部の腐食や、ショートによる故障の原因となります。ご注意ください。
- P I Nパッドでの暗証番号入力はお客様に行って頂きますので、濡れた手での操作はなされないようにご指示をお願いします。

#### タッチパネル部の扱いについて

- タッチパネル部の操作は、先のとがった器具等で行なわないでください。液晶ディスプレイ表面の破損の原因になります。
- タッチパネルは軽く押してください。叩いたり強い力を加えると破損や故障の原因になります。
- タッチパネルの上に物を置かないでください。
- ステッカーやテープなどタッチパネル部に貼らないでください。

#### 引火性ガスの発生するような場所では使用しない

- 発火事故の原因となります。

#### 使用する電源について

- 使用できる電源はA C 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

#### 電源プラグについて

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していない状態で差し込んでください。
- 同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。電力使用量オーバーでブレーカが落ち、またコードやコンセントの過熱から火災の原因にもなります。

#### 揮発性液体をそばに近づけない

- シンナーやベンジンなど揮発性の高い液体は、本装置の近くで使わないでください。本装置の中に入ると故障の原因になります。

#### 装置に負荷を与えない

- 機器の上に物を置いたり、押さえついたり、踏んだりしないでください。けが、機器の誤動作、破損の原因になります。
- リーダライタのスタンドを無理に引っ張らないでください。本機の破損の原因になります。

- 装置前面のプリンタカバー部に物を置かないでください。紙づまりの原因になります。

## 高温や低温になる場所に放置しない

- 直射日光の下や暖房装置の近く等の高温になる場所や、極端な低温になる場所に本機を置かないでください。発熱、発火、故障の原因となります。

## 装置を結露させない

- 湿気の多いところでの使用や保管、また寒い場所から急に暖かい場所への移動によって結露が生じ、そのまま使用すると故障の原因となります。

## 電源のON / OFFは手順通りにおこなう

- 取扱説明書（本書）の手順に従わないと、機器やデータが壊れる恐れがあります。
- 万一電源投入時に立ち上がらなかったり、ご使用中に操作ができなくなった場合は、現在の業務内容を確認の上、ご面倒でも電源プラグを一旦抜き、再立上げすることで、回復させてください。

## ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かない

- 落下によるけがや、破損の原因となります。

## 過大な振動のあるところで使用しない

- 過大な振動のある場所で使用すると、機器が正常に作動しません。振動の無い場所でお使いください。

## 磁気カードリーダー及びICカードスロットに不良カード、異物等を入れない

- 補修してあるカード、折れたり曲がっているカード、磁気情報が壊れているカードは使用しないでください。故障の原因となります。
- クリップなどの金属、食物やたばこの灰などの異物を磁気カードリーダー／ICカードスロットに入れないでください。故障の原因となります。

## プリンタ印字部に手を入れない

- けがをする恐れがあります。ロール紙のカッターで指を切らないように注意してください。
- プリンタの印字部は高温になりますので触らないようにご注意ください。

## 接続端子を手で触れない

- USBコネクタやシリアルポートなどの接続端子に手や金属で触れたりしないでください。接触不良などにより故障の原因になります。

## ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っかからないように配線してください。
- 電源が入っている状態で、ケーブルの抜き差しは行わないでください。接続する装置の故障の原因となるおそれがあります。
- 端末本体とのUSBケーブルの取り付け／取り外しはコネクタ部を持って行ってください。ケーブルを持って引っ張ると、ケーブル破損の原因となります。

## 電波や腐食性ガスを受けない場所に設置する

- 電波干渉による誤動作の原因となるため、他の非接触式ICカードリーダーライタの近くに置くと干渉することがありますので十分はなして設置してください。

- 直射日光の当たる場所、湿度の高いところ、強力な磁気があるところ、腐食性ガスが発生するところなどでは使用しないでください。

## 無線機器（テレビ、ラジオ）の近くでは使用しないでください

- この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用するとう電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 本体の移動について

- 移動させる時は、本体をつかんで行ってください。  
ケーブルを持って本機を持ち上げると、ケーブルが損傷し、本機および接続機器の故障・破損の原因になります。

## 万一液晶ディスプレイが破損した場合

- 液晶ディスプレイの液には、刺激性の物質が含まれています。  
万一、破損して液が流れ出した場合は絶対に口に入れないでください。  
誤って口に入れた場合は、水で十分洗浄した後すぐに医師に相談してください。  
目に入った場合はこすらずに、直ちにきれいな水で洗った後、医師の診断を受けてください。  
皮膚に付着した場合は、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、流水で十分洗浄してください。  
ガラスによるケガに十分ご注意ください。

## お手入れの仕方について

- お手入れは、必ず機器に電源が入っていないことを確認して行ってください。
- 本装置の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。  
汚れがひどい場合は、中性洗剤にひたした後かたく絞った布で軽くふいた後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 化学ぞうきん、シンナー、ベンジン、ワックス、石けん、磨き粉、熱湯などは使用しないでください。

## お願い

- 本取扱説明書に記載されている注意事項は、必ずお守りください。
- 本装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因となります。また他国には独自の安全規格が定められており本装置は適合していません。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。誤ってけがをすることがありますので、十分ご注意ください。
- ロール紙には、感熱紙を使っています。ライター等で熱を与えると、紙が黒く変色し印字できなくなる可能性があります。また、保存時にも絶対に熱を与えないでください。黒く変色して印字内容が読めなくなる場合があります。
- 伝票を長期保存する場合、以下をお守りください。
  - ・自然気候環境下で暗所に保管してください。
  - ・可塑剤・油・溶剤などを含有するフィルムや薬品類などに接触しない状態で保管してください。
  - ・印鑑、マジック、マーカーペン、スティック糊などを使用しないでください。
  - ・複写直後のジアゾコピー紙と接触させないでください。
- 補充用ロール紙は直射日光の当たらない冷暗所に保存してください。
- 本装置の梱包用ポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがありキケンです。
- 本装置の廃棄方法については、各地方自治体の条例にしたがって処理してください。具体的な処理方法に関しては、最寄りの自治体にお問い合わせください。

**●免責事項**

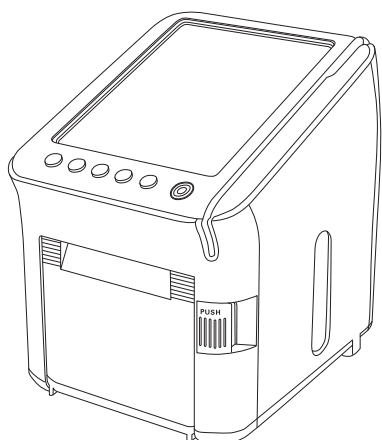
- ・地震などの自然災害および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書（本書）の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**●ご自分自身でもご注意を**

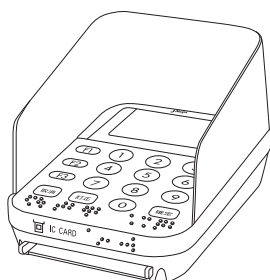
取扱説明書に記載されている内容につきましては万全を期しておりますが、万一想定を超えた事態が起こることが考えられますので、操作にあたっては、指示に従うだけでなく、常にご自分自身でも注意するようにしてください。

### 3 付属品の確認

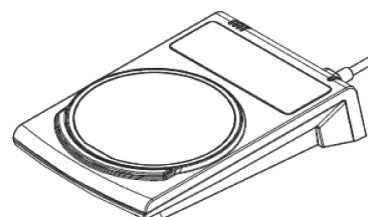
(※ 1) 契約の内容により同梱されていない場合があります。



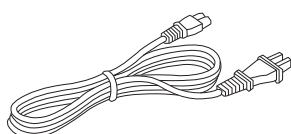
端末本体 1 台



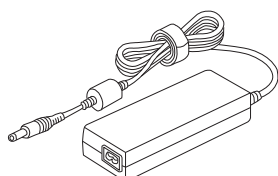
PINパッド (※ 1) 1 台



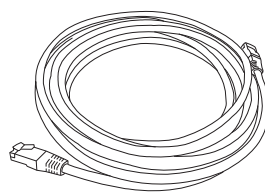
リーダライタ (※ 1) 1 台



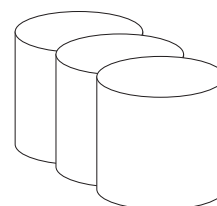
電源ケーブル 1 個



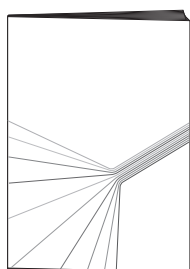
ACアダプタ 1 個



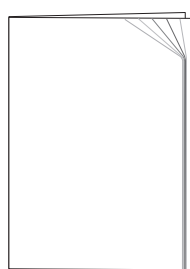
LANケーブル  
ストレート 1 本  
100BASE-T 対応(カテゴリ 5)



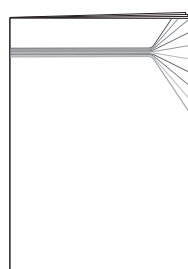
ロール紙 3 巻



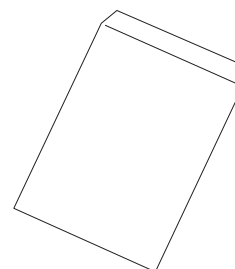
取扱説明書 (本書) 1 冊



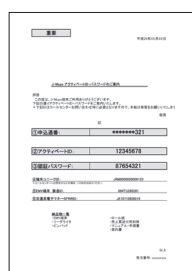
操作ガイド簡易版 1 冊



セルフセッティング  
マニュアル 1 冊



伝票送付用封筒 (※ 1)  
25 枚

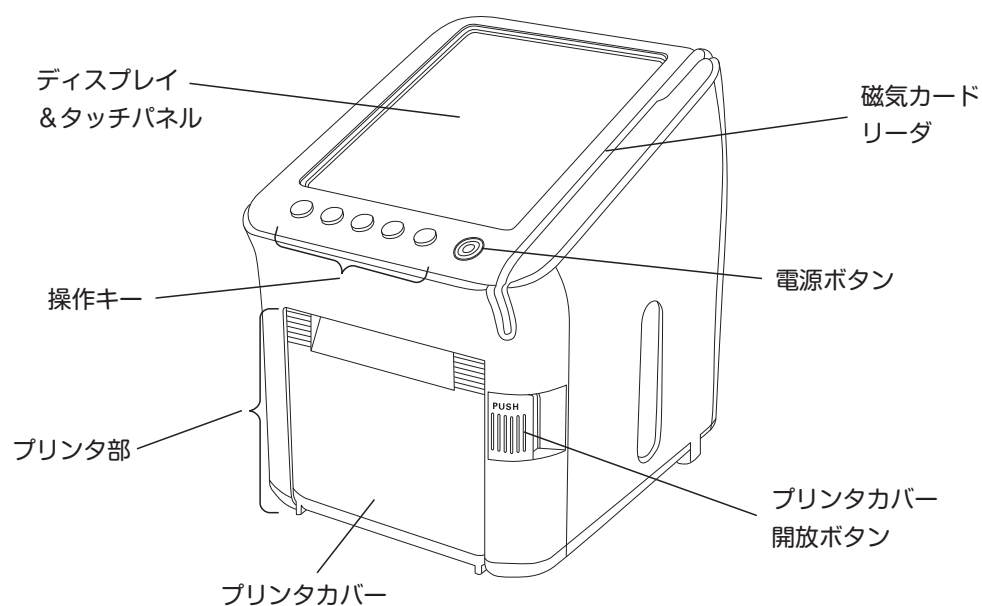


J-Mups アクティベートID 1 枚  
・パスワードのご案内



## 4 各部の名称

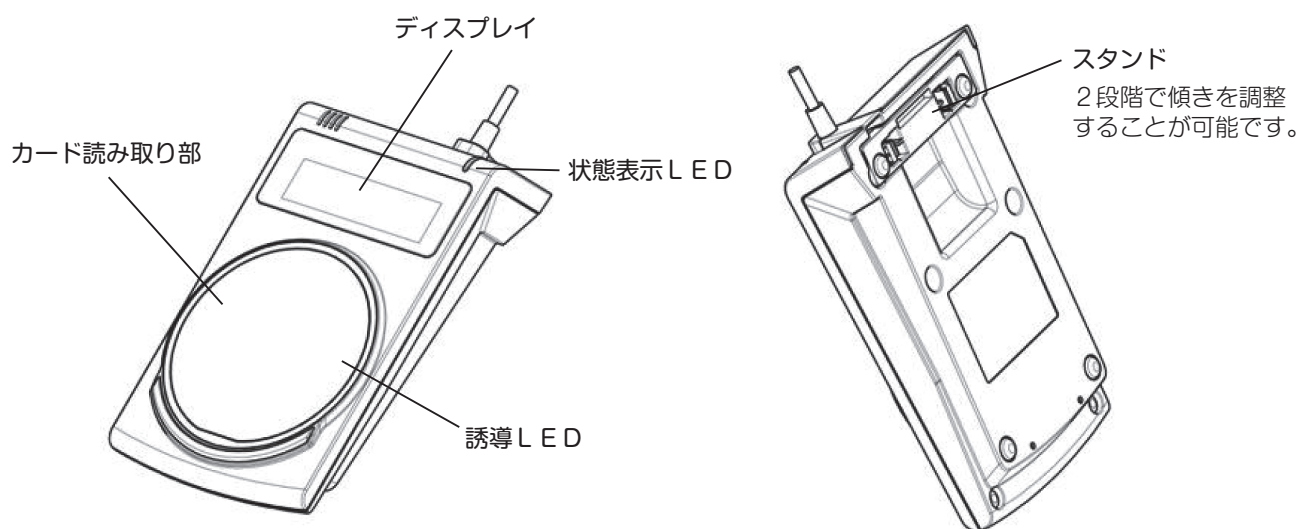
### <端末本体>



### <PINパッド>



## <リーダライタ>



## <端末本体の操作キー>



操作キーの機能説明

キー	機 能	
<	タッチキーの選択状態が左に移動します (※)	スタンバイモードを解除します。
>	タッチキーの選択状態が右に移動します (※)	
^	タッチキーの選択状態が上に移動します (※)	
v	タッチキーの選択状態が下に移動します (※)	
↵	選択状態にあるタッチキーが実行されます (※)	

(※) 現在この機能は使用できません。

## <PINパッドの操作キー>



操作キーの機能説明

キー	機 能
数字キー	金額または暗証場合を入力する時に使用します
取消	処理中の取引を中止し、初期画面に戻ります
訂正	入力された金額、数値を訂正する時に押します
確定	処理データの入力完了時の締めを押します
F1 ~ F3	未使用

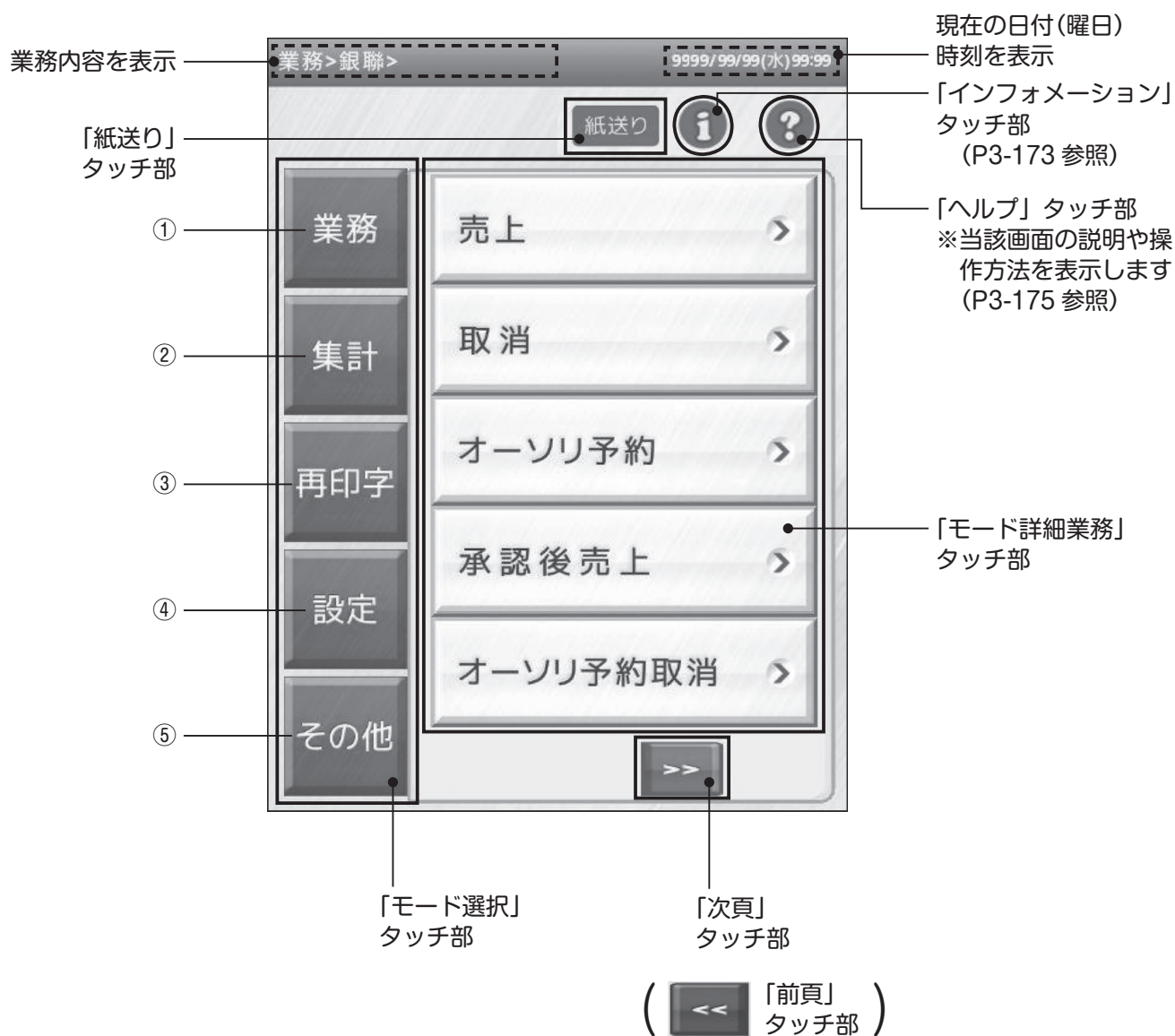


## ＜共通画面表示＞

● J-Mups には 5 種類のモードがあり、タッチすることにより切り替えることができます。

- ①業務モード：主にカードによるお取引を行います。
- ②集計モード：お取引の結果を集計します。
- ③再印字モード：お取引の結果を再度印字する時に行います。
- ④設定モード：交通系の設定等を行います。
- ⑤その他モード：端末操作をトレーニングする時等に行います。

各モードの詳細は、それぞれの **3 J-Mups の操作** をご覧ください。



(銀聯プレオーソリ「無」時の表示例)

## ＜共通操作＞

### ●「中止」、「もどる」の動作について

【中止】をタッチすると、当該の画面の最初のモード選択画面に遷移します。  
 【もどる】をタッチすると、当該の画面を呼び出したひとつ前の画面に遷移します。



### ●「クリア」、「<X>」の動作について

【クリア】をタッチすると、入力した値を初期化します。  
 【<X>】をタッチすると、入力した文字を一文字削除します。



### ●「紙送り」について

タッチすると紙を送り、送った後カットします。

#### ＜注意＞

紙送りをする際、紙送り後自動でカットしますので、カッターのそばに手を置かないよう注意してください。またそばに物を置いておくと正常にカットできないことがありますので、物を置かないようにしてください。



### ●電子マネーの J-Mups センタの開局状態表示

交通系業務の画面には電子マネーの J-Mups センターの状態を表示します。

開局時は青色で「e」マークを表示します。  
 閉局時は灰色で「e」マークを表示します。  
 異常時は赤色で「e」マークを表示します。



## 定格

## &lt;端末本体&gt;

項 目	諸 元
外形寸法	幅 129mm × 奥行き 167mm × 高さ 164mm
質量	1.1kg (ロール紙除く)
消費電力	20W 以下
使用環境	温度範囲：0 ～ 40℃ (印字品質保証：5 ～ 40℃) 湿度範囲：20 ～ 85% (結露しないこと)
電源	D C 24V (専用アダプタ使用 A C 100V、50/60Hz 変換)
ディスプレイ	表示装置：TFT LCD サイズ：5.6 インチ 視野角：前後各 60°、左 60°、右 40°
プリンタ	オートカッター方式 利用可能ロール紙：幅 58mm、外径 60mm 以下、内径 12mm 以上の感熱紙
インターフェース	L A N：10/100BASE-T(X) 有線 L A N (RJ45 形状) シリアルポート：RS232C 準拠 (RJ11 形状) U S B ポート：USB2.0 (準拠)

## &lt;P I Nパッド&gt;

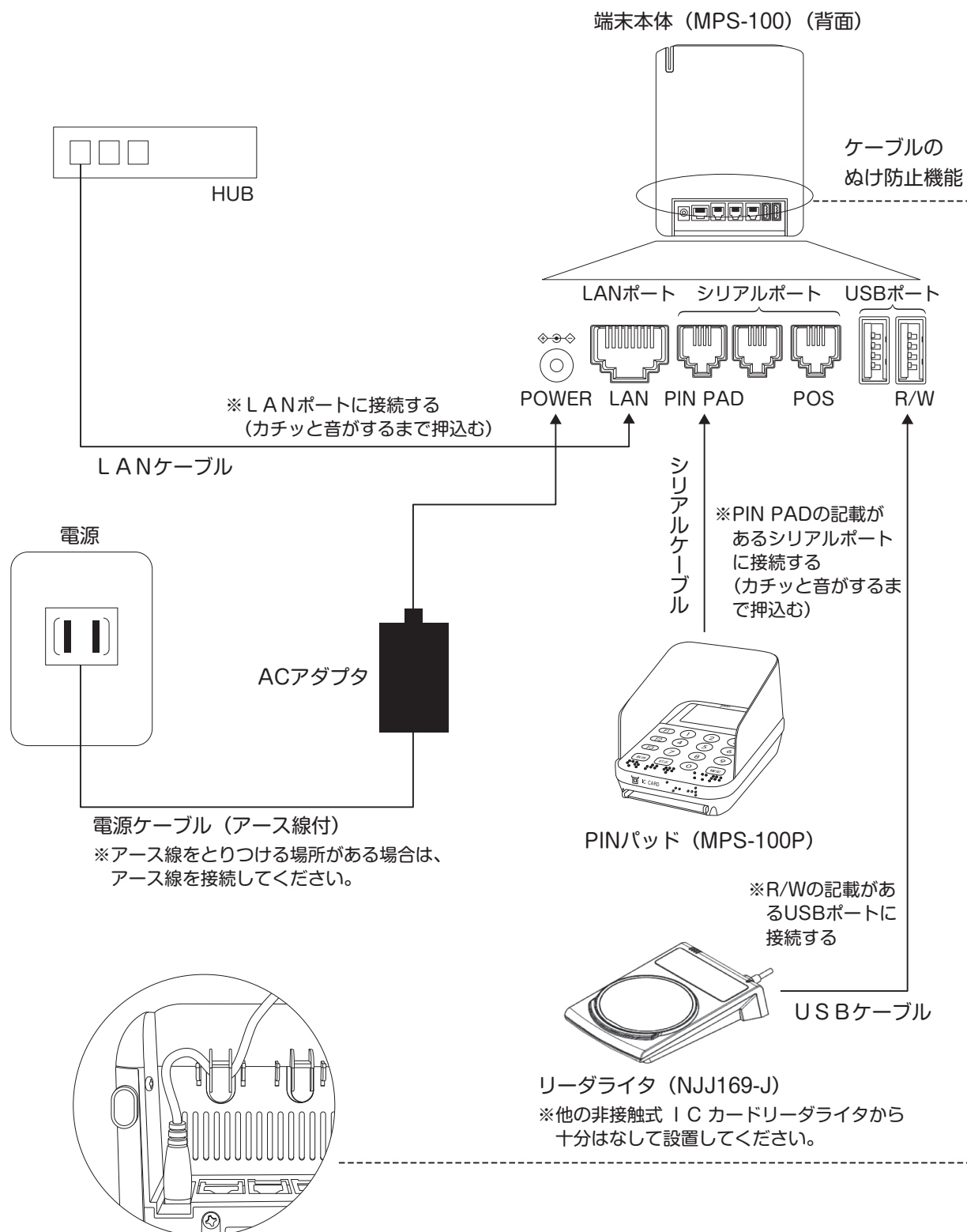
項 目	諸 元
外形寸法	幅 86mm × 奥行き 132mm × 高さ 85mm (カバーを含む)
質量	0.3kg
消費電力	2.5W 以下 (本体から供給)
使用環境	温度範囲：0 ～ 40℃ 湿度範囲：20 ～ 85% (結露しないこと)
インターフェース	シリアルポート：RS232C 準拠 (RJ11 形状)
ケーブル長	2.0m

## &lt;リーダライタ&gt;

項 目	諸 元	
外形寸法	幅 90mm × 奥行き 150mm × 33mm (突起物、ケーブル含まず)	
質量	0.2kg	
消費電力	2.5W 以下（本体からのU S B接続で動作）	
使用環境	温度範囲：0 ～ 40℃ 湿度範囲：30 ～ 80%（結露しないこと）	
カード読み取り部	通信距離	約 35mm（周辺環境により異なります）
	周波数	13.56MHz
インターフェース	U S Bポート：USB2.0（準拠）	
ケーブル長	1.2m	

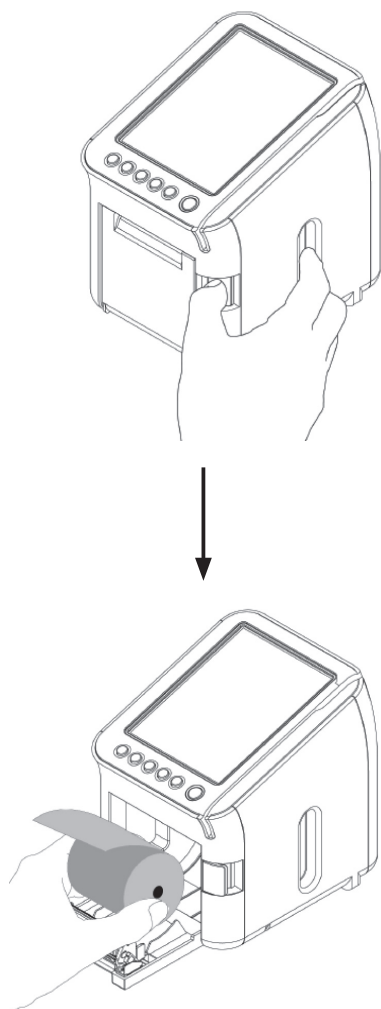
## 5 各部の接続方法

### 5.1 ケーブルやコードの配線



USBケーブルと電源ケーブルは、ケーブルが引っ張られると端末本体から抜けてしまいます。この為、ケーブルを差し込む時はケーブルが抜けないように、上記の図を参考にして、ケーブルを上面のフックに回して掛けてください。

## 5.2 印刷用ロール紙のセット

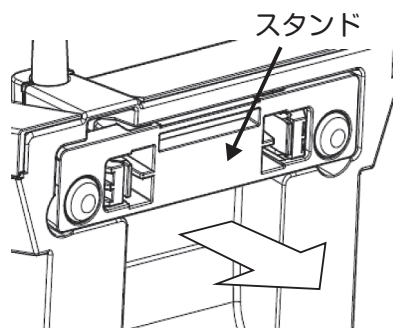
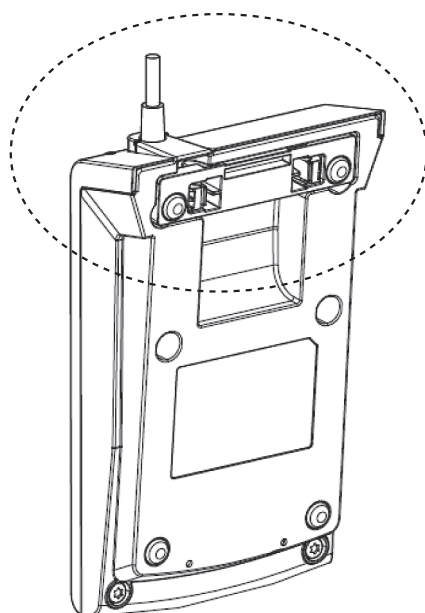


プリンタカバーを開けてください。  
端末前面に開放ボタンがあります。  
右手の親指でボタンを押してください。

使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙を入れます。  
左図のように印字される面を上向きにして入れてください。

- ロール紙を逆向きにセッティングすると印字が出来なくなります。
- ロール紙をプリンタ排出口より3 cm くらい引き出してプリンターの蓋の左右をゆっくりと確実に閉めてください。
- プリンタの印字部に手を入れる場合は、ロール紙のカッターで指を切らないように注意してください。
- プリンタの印字部は高温になりますので触らないようにご注意ください。
- ロール紙は J-Mups 推奨のものをご利用ください。それ以外のロール紙を使用された場合は、製品保証の対象外となる場合があります。詳細は P4-19 を参照ください。

## 5.3 リーダライタスタンド部操作方法

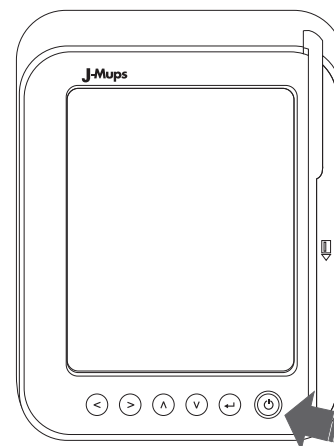


本体裏面のスタンドを矢印方向に引っ張ることにより、  
本体の傾きを調整することが出来ます。(2段階)

## 6 電源の入れ方・切り方

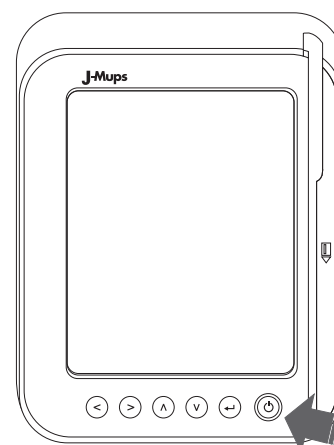
### 6.1 電源を入れる

- 端末の電源ボタンを1秒以上押します。  
電源ボタンのランプが赤色になります。



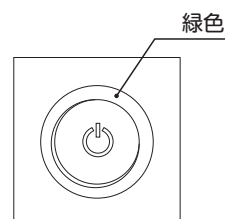
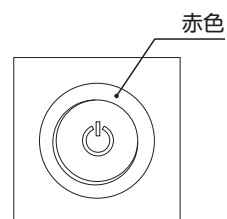
### 6.2 電源を切る

- 起動した端末の電源ボタンを2秒以上押すと、端末が停止します。



## 6.3 スタンバイモードについて

- 起動中、3 分以上の端末操作がない場合、スタンバイモードに遷移します。  
画面が消え、電源ボタンが緑色から赤色に変わります。
- スタンバイモードから復帰するには、操作キーを押します。  
画面がつき、電源ボタンが赤色から緑色に変わります。



## 7 カードの読み取り方法

### クレジットカード利用の場合

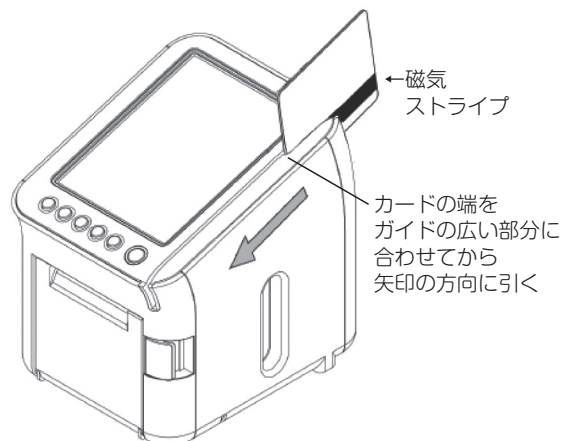
#### <磁気カードの読み取り>

#### 1

■カード裏面の磁気ストライプを外側にして、磁気リーダに差込み、右図のように矢印の方向へ引いてください。

##### <注意>

- ・カードの向きには注意してください。
- ・カード底面を密着させたまま引いてください。
- ・一定の速度で引いてください。
- ・カードは途中から入れず、ガイドの広い部分にカードの端を合わせてから引いてください。



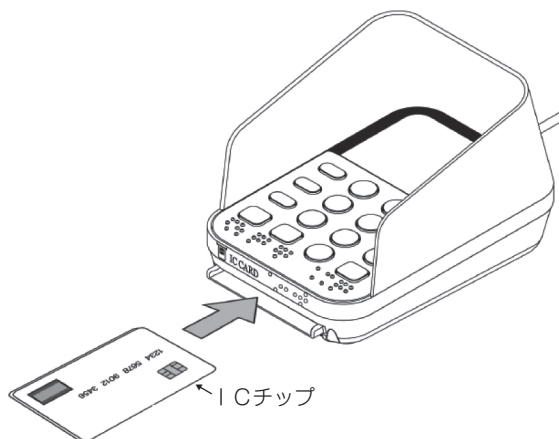
#### <ICクレジットカードの挿入／抜き取り>

#### 1

■ICチップを上側にして、図のようにICカードスロットに差し込みます。

##### <注意>

カードの挿入は奥まで確実に差し込んでください。

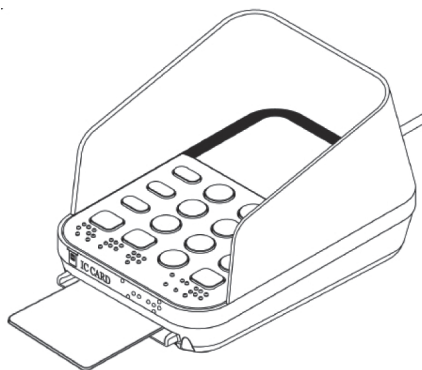


#### 2

■画面の指示に従いICカードを抜いてください。

##### <注意>

処理が終わるまでICカードは抜かないでください。  
カードが使えなくなる恐れがあります。






## 1

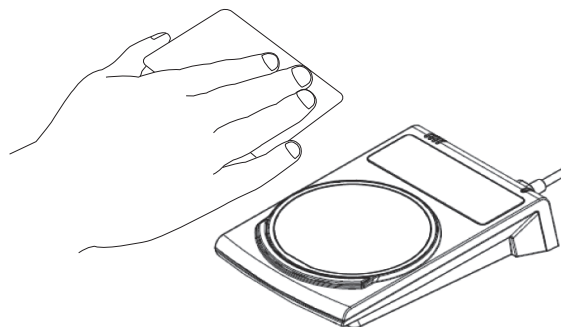
- アンテナの中心とカードの中心が重なるようにカードをタッチします。

<補足>

アンテナの中心は、カード読み取り部である円のまん中を示します。

非接触型の携帯電話の場合は、マークを中心にして置いてください。

上記の内容をお守りにならないでタッチした場合、リーダライタから連続音が鳴ります。これは決済が出来ていない状態ですので、上記の内容をお守りの上再度タッチを行ってください。



## 2

- 音が鳴りましたらカードを離します。

<注意>

音が鳴るまでカードをそのままの状態にしてください。

決済ができない場合があります。

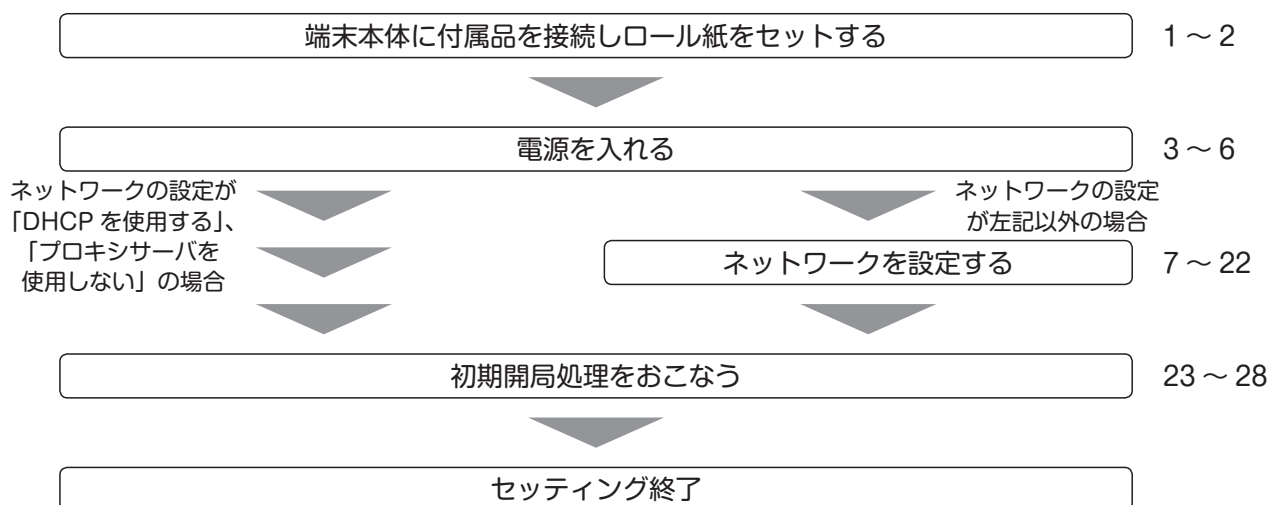
## 8 設置方法

### セッティング手順

前提条件 インターネット環境が整備されていること  
ネットワーク機器にLANケーブルが接続出来る状態になっていること

用意するもの J-Mups センター利用申込書兼端末設置申込書（控え）  
J-Mups アクティベートID・パスワードのご案内

#### セッティングの流れ

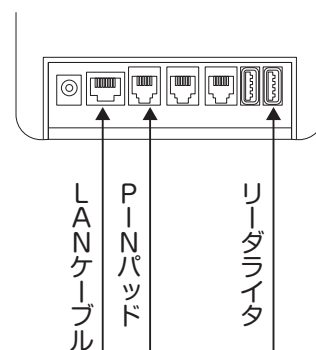


### 1

■端末本体に、PINパッド、リーダライタ、LANケーブルを接続します。  
（電源ケーブルは接続しないでください）

<補足>

PINパッド、リーダライタ、LANケーブル接続の詳細は、  
「5 各部の接続方法 ケーブルやコードの配線」P1-14 を参照ください。



### 2

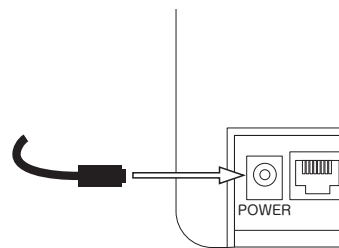
■ロール紙をセットしてください。

<補足>

ロール紙セットの詳細は「5 各部の接続方法 印刷用ロール紙のセット」  
P1-15 を参照ください。

### 3

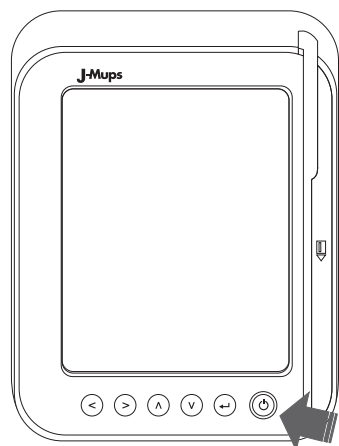
■電源コードを端末に接続後、電源プラグをコンセントに差し込みます。



1  
お使いになる前

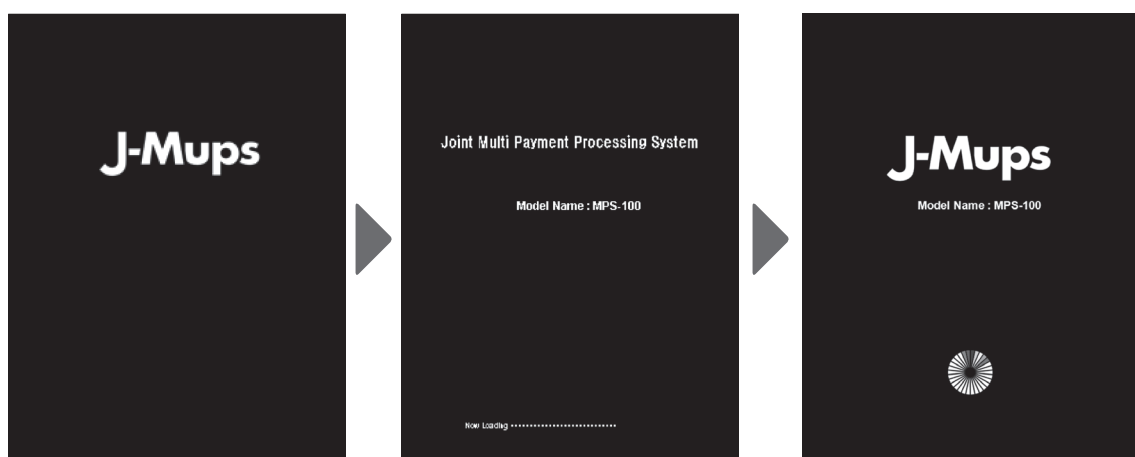
### 4

■端末の電源ボタンを1秒以上押します。  
電源ボタンのランプが赤色になります。



### 5

■起動画面が表示されます。  
電源ボタンのランプが緑色になります。



## 6

## ■開始画面を表示します。

設置するネットワークの環境が「DHCPを使用する」「プロキシサーバを使用しない」場合は【開始】をタッチします。

・・・接続中を表示し 23 に進む

上記以外のネットワーク環境の場合は、【設定】をタッチします。

・・・接続中を表示し 7 に進む

【診断】をタッチした場合は、ネットワーク診断画面を表示します。

詳細は「ネットワーク診断画面」を参照してください。

## &lt;補足&gt;

端末の初期設定は、

DHCPサーバ：有効、

プロキシサーバ：無効

になっています。

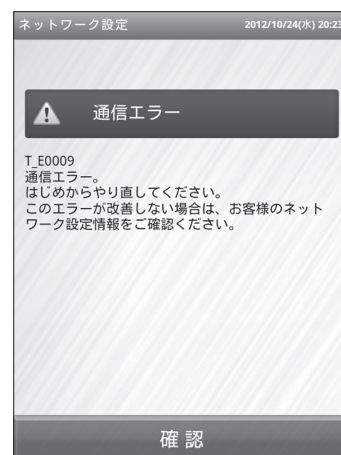
【開始】をタッチした後、ネットワークのエラーが発生した場合は、右図の画面を表示します。

この場合、【確認】をタッチすると7へ進みます。

繰り返しエラーになる場合は、端末の電源をOFFした後、

再度電源をONし、開始画面で【設定】をタッチして

ネットワークの設定を行ってください。・・・7に進む



## 「ネットワーク診断画面」

ネットワーク診断の初期画面を表示します。

【テスト開始】をタッチすると、端末本体のネットワークの情報を収集します。

結果は

○（応答あり）、

×（応答なし）、

－（設定なし）で表示します。

【終了】をタッチすると元の画面に戻ります。

ネットワーク診断		
MACアドレス	00-26-A8-00-01-EE	
IPアドレス	192.168.0.11	
1 IPアドレス	192.168.0.11	
2 デフォルトゲートウェイ	255.255.255.0	
3 プライマリDNSサーバ	192.168.0.1	
4 セカンダリDNSサーバ	未設定	
5 プロキシサーバ	未設定	
終了   テスト開始   画面再取得		

（初期画面）

ネットワーク診断		
MACアドレス	00-26-A8-00-01-EE	
IPアドレス	192.168.0.11	
1 IPアドレス	192.168.0.11	○
2 デフォルトゲートウェイ	255.255.255.0	○
3 プライマリDNSサーバ	192.168.0.1	○
4 セカンダリDNSサーバ	未設定	－
5 プロキシサーバ	未設定	－
終了   テスト開始   画面再取得		

（テスト開始後）

ここからは端末のネットワークを手動で設定する手順です。  
設定内容がわからない場合、あるいはネットワークの環境を確認する場合は、  
加盟店様で利用しているネットワーク管理者、もしくはネットワーク回線事業者にお問い合わせください。

## 7

- ネットワークの設定の画面を表示するため、  
端末設定パスワードを入力します。  
【英字・記号】ボタンをタッチすると、英字・記号の入力画面へ移ります。  
8桁までの半角英数字記号を入力します。

<補足>

端末設定パスワードは「0000」ゼロ4ケ入力します。  
既にネットワークの設定が終了している場合は、「J-Mups アクティベート ID・パスワードのご案内」シートのパスワードが本パスワードになります。  
ネットワークのエラーが発生した場合は、【診断】をタッチし、ネットワーク診断画面を表示します（P1-22 参照）。ネットワーク診断後、「応答なし」がなければ、【再接続】をタッチして再度接続を行ってください。



## 8

- 端末設定画面を表示します。  
設定するネットワークの環境が「DHCPを使用する」「プロキシサーバを使用しない」場合は【自動】をタッチ、  
上記以外の場合は【手動】をタッチします。

<補足>

DHCPを使用しない環境で【自動】をタッチすると、ネットワークの設定がクリアされてしまいますので、予めメモ等にネットワークの情報を書留めておくことをおすすめします。

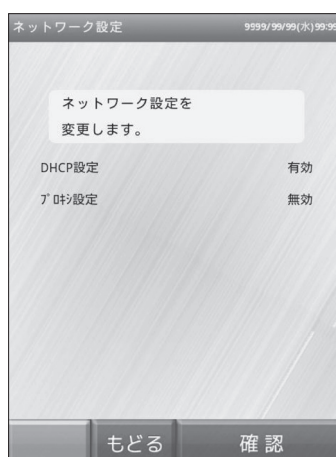


## 9

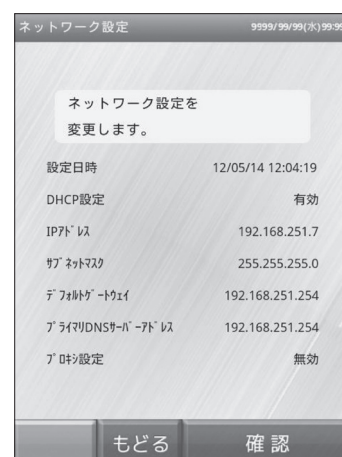
- 現状のネットワークの設定を表示します。  
【確認】をタッチして設定変更します。

8で【自動】をタッチした場合は（1）を表示し、20へ進みます。

8で【手動】をタッチした場合は（2）を表示し、10へ進みます。



(1)



(2)

# 10

## ■DHCPの設定を選択します。

DHCPを使用する場合は【有効】をタッチ・・・14へ  
DHCPを使用しない場合は【無効】をタッチ・・・11へ  
進みます。



# 11

## ■IPアドレスを入力します。

テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。

<補足>

IPアドレスをタッチして入力することもできます。



# 12

## ■サブネットマスクを入力してください。

テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。

<補足>

IPアドレスをタッチして入力することもできます。



# 13

## ■デフォルトゲートウェイを入力してください。

テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。

<補足>

IPアドレスをタッチして入力することもできます。



## 14

- プライマリDNSサーバーアドレスを入力します。  
テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。  
設定不要の場合は、そのまま【次へ】をタッチしてください。

<補足>

I Pアドレスをタッチして入力することもできます。



## 15

- セカンダリDNSサーバーアドレスを入力します。  
テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。  
設定不要の場合はそのまま【次へ】をタッチしてください。

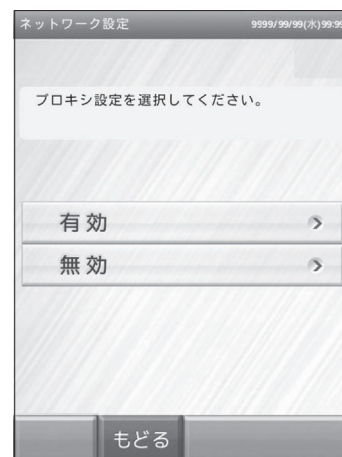
<補足>

I Pアドレスをタッチして入力することもできます。



## 16

- プロキシの設定を行います。  
プロキシの設定を行う場合は【有効】をタッチ・・・17へ  
プロキシの設定を行わない場合は【無効】をタッチ・・・19へ進みます。





## 17

- プロキシのアドレスを入力してください。  
テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。

<補足>

IPアドレスをタッチして入力することもできます。



## 18

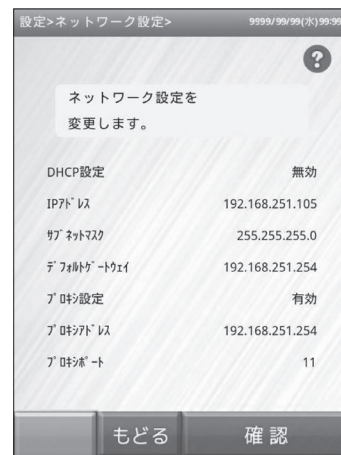
- プロキシのポート番号を入力してください。  
テンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。



## 19

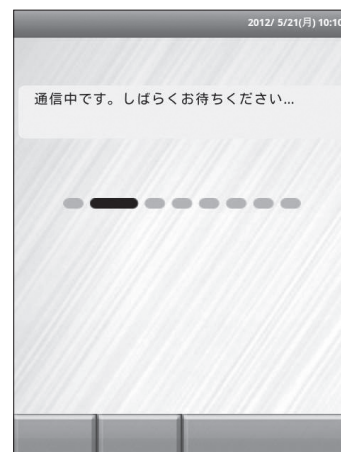
- 変更した設定内容を確認します。  
よろしければ【確認】をタッチしてください。

右図はDHCP無効、  
プロキシ有効の例です。



## 20

- 通信中の画面を表示します。





## 21

- ネットワーク設定が正常に行われると右の画面を表示し、次のステップである開局処理を行います。・・・23へ進む



## 22

- ネットワークの接続エラーが発生した場合は、端末の電源をOFFし、再度電源をONにして立上げなおしてください。・・・4へ進む

初期開局処理を行います。

開局処理では、「J-Mups センター利用申込書兼端末設置申込書（控え）」と「J-Mups アクティベートID・パスワードのご案内」を御準備ください。

## 23

■申込通番を入力してください。

申込通番をテンキーで入力後、【次へ】をタッチしてください。

<補足>

申込通番は申込書の右上にある 10 桁の数字です。

申込通番 0000000014

アクティベート

申込通番を入力してください。

申込通番 0000000014

次へ

## 24

■アクティベートIDを 8 桁までの半角英数記号を入力します。

【英字・記号】をタッチすると、英字・記号の入力画面へ移ります。

入力後【次へ】をタッチしてください。

②アクティベートID: 12345678

アクティベート

アクティベートIDを入力してください。

ID 12345678

英字・記号

次へ

## 25

■パスワードを入力します。

【英字・記号】をタッチすると、英字・記号の入力画面へ移ります。  
入力後【次へ】をタッチしてください。

③認証パスワード: 87654321

1 お使いになる前

## 26

■「J-Mups センター利用申込書兼端末設置申込書（控え）」の申込通番と「J-Mups アクティベートID・パスワードのご案内」のアクティベートIDと画面の表示内容が一致していることを確認します。  
【次へ】をタッチするとセットアップを開始します。

## 27

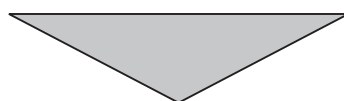
■セットアップ右の画面を表示します。

## 28

■モード選択画面を表示します。

<補足>

右記画面はご契約内容により表示される内容が異なります。



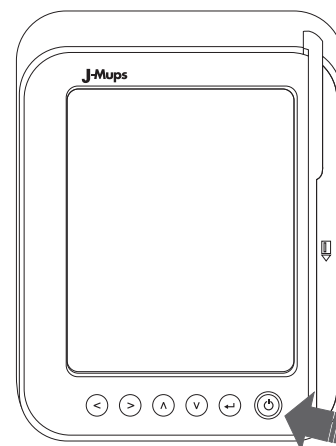
以上でセッティングは終了です。

## セッティング済の端末のネットワーク環境が変更になった場合

セッティング済の端末のネットワーク環境が変更になった場合、ネットワークのみ再度設定を必要とする場合があります。この時は、端末本体の電源ON後、ネットワークを設定するためのパスワードの入力を要求してきますので、「J-Mups アクティベート I D・パスワードのご案内」の認証パスワードを入力してネットワークの設定を行ってください。

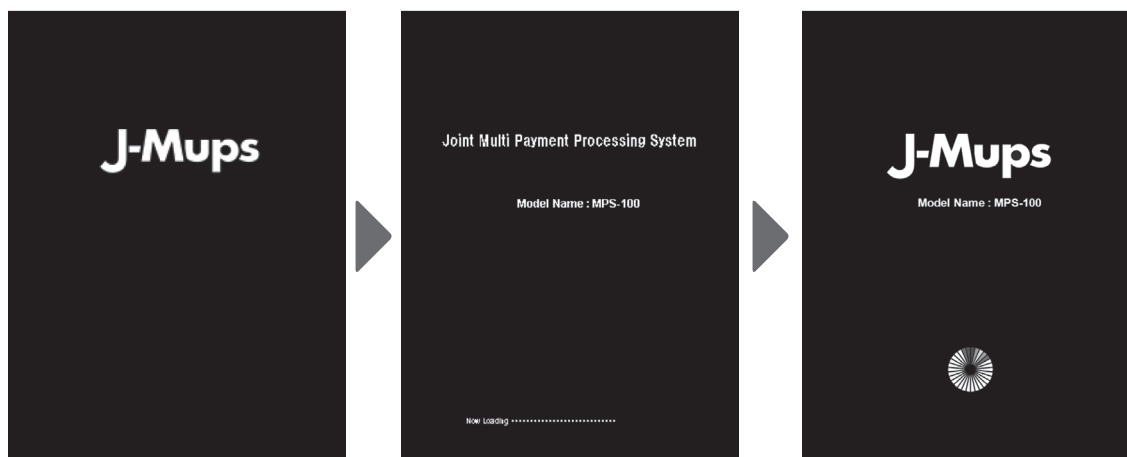
### 1

- 端末の電源ボタンを1秒以上押します。  
電源ボタンのランプが赤色になります。



### 2

- 起動画面が表示されます。  
電源ボタンのランプが緑色になります。



### 3

- ネットワークの設定の画面を表示するため、「J-Mups アクティベート I D・パスワードのご案内」シートのパスワードを入力します。



## 4

- 以降は、**セッティング手順** 8 ～ 22 を行います。詳細は **セッティング手順** P1-23 ～ 27 を参照してください。

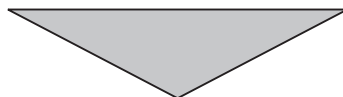
## 5

- 接続中の画面を表示します。



## 6

- モード選択画面を表示します。



以上でネットワーク環境が変更になった場合のセッティングは終了です。

## 2 お使いになる時

### 1 基本的な使い方（1日の流れ）

#### 開店前

- 電源を入れ、端末を使用する準備を行います。

#### 操作説明

- 端末本体の電源を入れます。

<注意>

- P I Nパッド、又はリーダライタを利用する場合は、本体の電源を入れる前に接続を確認してください。
- 電源の入れ方は「6 電源の入れ方・切り方」P1-16を参照してください。

- モード選択画面を表示します。

<補足>

右記画面はご契約内容により表示される内容が異なります。



#### 営業中

- カード決済業務を行います。
- 各業務の詳細な操作方法は **3 J-Mups の操作** P3-1 を参照してください。

## 閉店後

- 毎日日計を実施してください。
- 日計を印字する前に、必ずロール紙の残量を確認してください。
- 二重請求、誤請求、請求もれが気になる場合は、中間計を印字して確認してください。
- 日計の印字は一度のみです。再度同じ日計を印字する時は「再印字」を行ってください。
- 端末の電源をOFFにしてください。

### <補足>

電源の切り方は「6 電源の入れ方・切り方」P1-16を参照してください。

### <注意>

電源をOFFしても一部回路には通電しています。休暇や旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグを抜いてください。



## 2 基本的な業務（クレジット）

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様がクレジットカードで商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-1
	取消／返品	お客様がクレジットカードで購入された商品やサービスの取消・返品を行う業務です。	P3-16
	事前承認	お客様からのカード提示の際に、売上に先立って利用額分の承認を得ることにより、クレジットカード会社がお客様に割り当てている与信限度額から利用額分の枠取りを行う業務です。	P3-21
	承認後売上	売上で「保留」となり、電話等でクレジットカード会社から承認を得た後に行う業務です。	P3-24
	カードチェック	お客様が提示したクレジットカードの有効性を確認する業務です。	P3-28
集計	日計	J-Mups センタに保存された1日の集計データを印字する業務です。	P3-77
	中間計	日計前のお取引データを随時印字する業務です。取引データは削除されません。	P3-111
再印字	日計	J-Mups センタに保存された1日の集計データを再印字する業務です。	P3-125
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-139

### 3 基本的な業務（交通系 I C）

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様が交通系 I Cカードで商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-32
	取消	交通系 I Cカードでの売上処理が完了した商品やサービスを取消または返品が必要な時に行う業務です。 直前に行った業務のみ取消が可能です。	P3-37
	残高照会	交通系 I Cカードにチャージされている金額を確認する場合に行う業務です。	P3-41
集計	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を印字出力する業務です。	P3-99
	中間計	日計前のお取引の集計結果を随時印字する業務です。	P3-113
再印字	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を再印字出力する業務です。	P3-127
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-142

## 4 基本的な業務（銀聯）

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様が銀聯カードで商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-43
	取消	お客様が銀聯カードで購入された商品やサービスの取消・返品を行う業務です。	P3-46
	オーソリ予約	お客様からのカード提示の際に、売上に先立って利用額分の承認を得ることにより、銀聯金融機関がお客様に割り当てている与信限度額（口座残高）から利用額分の枠取りを行う業務です。	P3-50
	承認後売上	オーソリ予約により承認を得た後に行う売上業務です。	P3-53
	オーソリ予約取消	お客様が銀聯カードでオーソリ予約により枠取りされた与信金額の取消・返品を行う業務です。	P3-56
	承認後売上取消	お客様が銀聯カードで承認後売上業務により購入された商品やサービスの取消・返品を行う業務です。	P3-60
集計	日計	J-Mups センタに保存された1日の集計データを印字する業務です。	P3-101
	中間計	日計前のお取引データを随時印字する業務です。取引データは削除されません。	P3-115
再印字	日計	J-Mups センタに保存された1日の集計データを再印字する業務です。	P3-129
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-144

## 5 基本的な業務（デビット）

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様がデビットカードで商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-64
	取消	デビットカードでの売上処理が完了した商品やサービスを取り消または返品を行う業務です。	P3-67
	残高確認	お客様がデビットカードで取扱い可能かどうか確認するときに行う業務です。	P3-69
集計	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を印字出力する業務です。	P3-103
	中間計	日計前のお取引の集計結果を随時印字する業務です。	P3-117
再印字	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を再印字出力する業務です。	P3-131
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-147

## 6 基本的な業務 (iD)

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様が iD で商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-75
	取消	iD での売上処理が完了した商品やサービスを取消または返品が必要な時に行う業務です。 直前に行った業務のみ取消が可能です。	P3-78
	照会	iD を利用した履歴を確認する場合に行う業務です。	P3-82
	前回取引確認	端末での最後の iD を取引した内容を確認する業務です。	P3-84
集計	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を印字出力する業務です。	P3-105
	中間計	日計前のお取引の集計結果を随時印字する業務です。	P3-119
再印字	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を再印字出力する業務です。	P3-133
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-152

## 7 基本的な業務（QUICPay）

●この表は、J-Mups で操作できる業務の概要を説明したものです。操作の詳細は各ページをご覧ください。

※ご契約内容により、本項目は表示されない場合があります。

モード	業務	概要	詳細ページ
業務	売上	お客様が QUICPay で商品やサービスを購入される時に行う業務です。	P3-86
	取消	QUICPay での売上処理が完了した商品やサービスを取消または返品が必要な時に行う業務です。 直前に行った業務のみ取消が可能です。	P3-89
	履歴出力	QUICPay を利用した履歴を確認する場合に行う業務です。	P3-93
	前回取引確認	端末での最後の QUICPay を取引した内容を確認する業務です。	P3-95
集計	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を印字出力する業務です。	P3-107
	中間計	日計前のお取引の集計結果を随時印字する業務です。	P3-121
再印字	日計	J-Mups センタに保存された 1 日のお取引の集計結果を再印字出力する業務です。	P3-135
	伝票	J-Mups センタに保存されたデータを再印字する業務です。	P3-154